

## 会議録

日 時	平成29年10月31日(火) 午後6時30分から午後8時
会 場	市役所新庁舎4階 会議室4C
出席委員	北側委員長、本橋委員、山口委員、小川委員、竹内委員、高屋委員
欠席委員	櫻井委員、橋本委員、古木委員、濱田委員
市出席者	吉田課長、古内主事、坂下主事

○開会(午後6時30分)

○社会教育委員長あいさつ

○報告事項

(1) 第54回全国社会教育研究大会北海道大会について

委員長：口頭にて報告。

委員長：それでは協議事項に入ります。何回か話を重ねてきましたが「北広島市における公民館のあり方について」お願いいたします。

○協議事項

(1) 北広島市における公民館のあり方について(前回までに整理された内容、公民館事業について)

事務局：資料に基づき説明。

委員長：現在行われている事業も含めて、どのような事業をどのような方向で進めていったらいいのかという話をさせていただければと思います。

委 員：東部地区生涯学習振興会では子ども広場を担当させていただいております。子どもたちが企画した遊びを当日運営して、たくさんのお客さんに来ていただきました。そういう意味では、団体、サークルの発表の場として、とても有意義ではないかと思えます。

事務局：公民館まつりも昔からみるとかなり参加団体が減って、高齢化してきています。新しいサークルや新しい学びの活動団体が作れていないという結果なのではないかというの、我々としての反省であり、認識です。

委員長：ここ10年くらいで市教委が仕掛けたサークル化への取り組みや実績はありますでしょうか。

事務局：昔は講座を開催すればサークル化という感じでしたが、ここ最近は、積極的には行われていないのが現状です。結果として社会教育関係団体の数が減少してきてます。

委 員：うちの振興会で言えば、サークル化できそうな事業はありますが、現状としてはいいです。サークル化に向けた取り組みも必要ですね。

委 員：サークル化しても活動する場所が必要ですね。ハード面とのリンクが必要ですね。

委 員：中央公民館の受付業務で言えば、毎月1日は予約の取り合いで大変ですよ。

委員長：人づくりの活動に65歳くらいの人たちが自動的に参加していくような流れがあればいいですね。今は新陳代謝がないですね。

事務局：人づくり活動については、生涯学習振興会が果たしてきた役割は大きく、成果があると考えています。それを組織化すると我々もそうですが、意図的にという部分でまだやれることはあるのかなと思います。

委 員：北広島市は発表の場がかなり多く設定されていて、それぞれが活発に自主的に活動していることも肌で感じています。今後の課題としては、あと10年すると今のサークルを組織している人たちの半分以上は引退される状況ですね。今後この社会教育という活動をしていくためには、新しい人たちの呼び込みの施策と仕掛けに力を入れていくべきだと思います。

社会教育関係団体以外の人たちは、仲の良い人たちで活発に何かしてるけど、私には関係ないというのが大半ではないかと思えます。その大半の人たちにどのように目を向けてもらうのか。というのがこれからの公民館のあり方としては、大事なのではないか

## 会議録

と感じています。

委員：いま社会教育関係団体は、何団体ありますか。

事務局：約260団体あります。

委員：カテゴリー分けはどのようになっていますか。

事務局：文化活動からスポーツ活動まで様々あります。多いときは約400団体ありました。

委員：その他大勢の人たちは、何か文化活動をしたい、スポーツ活動をしたい、このまちに住んでいる人と交流をしたい。と思ったときに、どこに、どのように、コンタクトを取っていいかわからないと思います。

今後の公民館事業を考えたときに、関心のある市民が積極的にアクセスできるような仕掛けがあると、既存の団体がさらに活発に活動できるようになるのではないかと思います。

事務局：情報の提供はやはり重要だと思います。そういう意味では発表の場である公民館まつりも学ぶきっかけ作りになっていると思います。

委員長：例えば人の入れ替えの多い春、5月の広報誌に社会教育特集があるとかかなりの人が目をとおして、知ってもらえるのではないのでしょうか。インターネットも有効ですがまだ紙媒体も強いですよ。

委員：生涯学習振興会で行う事業というのは地域に浸透しやすいので、サークルを絡めた事業を盛大にやればいいのかと思います。衰えていくサークルが事業を行うことにより、サークルは活動を紹介できるし、関心のある人は学べるしというWINWINの関係ではないのでしょうか。

委員：そういった事業を増やしていくというのも1つの手ですね。

委員：人づくりという観点で言うと、それぞれサークル、団体はやってると思いますが、なかなか一足飛びにはいかないもので、仕方がないことと思います。昨年から実施している「夢チャレンジ」これになりたいと思って参加してくる背景は何なのか。子どもが「なりたい」と思わせるような環境が必要ではないかと。それは地域なのか、家庭なのか、サークルなのか、そういった形でリンクして、地域に還元されるという仕組みがあればいいのかなと思います。「夢チャレンジ」を活かして何かできないものかと考えていました。

委員：地域の人材や企業を活かした事業ですね。高い講師料を払って有名な人を呼んで事業するのもいいですが、地域で一生懸命頑張って実績のある地域の人から教えてもらうのが一番いいですよ。

委員：今の子どもたちは忙しいですよ。親も部活や習い事の送迎だとか忙しい中で事業に参加するというのは難しい家庭も多いのかと思います。ですが、先ほどの「夢チャレンジ」は、地域に何かあれば、何か繋がりそうだなという感じがしました。

委員長：色んな場面や世代にどうアプローチしていくかというのはまだまだ漠然としています。今日の話をもとめて方向性を出していただければと思います。

協議事項の公民館のあり方については、まだ次回があるということで、今日はここまでとしたいと思います。その他について、お願いします。

### ○その他

(1) 平成29年度石狩管内市町村社会教育委員等研修会について

事務局：資料に基づき説明。

委員：事例発表者が4人から2人に減った理由は。

事務局：選挙の関係で当初の日程から動いてしまい、地域行事とバッティングしてしまったことが理由です。

委員長：このような内容で進めていければと思います。事務局からは、全員参加していただけるよう個々に勧めていただければと思います。それでは、次にいきます。

## 会議録

---

(2) 平成 29 年度石狩管内社会教育共同事業「フォーラム石狩」について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：こちらについても奮って参加していただければと思います。それでは、次をお願いいたします。

(3) 国際交流事業「世界からのチャレンジ～君に～」について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：質問等ありますでしょうか。

ないようなので、本日の会議を終わらせていただきます。ご苦勞様でした。

○閉会（午後 8 時）

会議録署名委員

---